

# 『福岡空港環境計画』と数値目標の達成状況

## ■環境マネジメント

「福岡空港エコエアポート協議会」では『福岡空港環境計画』（主な項目は次頁ご参照）の数値目標を軸としたPDCAマネジメントサイクルを導入しております。

FY2022における目標達成度は以下のとおりとなっており、今後も、弊社を中心に空港内事業者、その他関係者と連携して目標達成に向けて取り組んでまいります。

分野	目標	評価	達成状況（FY2022実績）
大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。(FY2016比)	△	全体84.4%・旅客当り105.9%
エネルギー (原油換算)	エネルギー消費量を着実に削減する。	△	FY2016比100.0%
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。(FY2016比)	○	全体26.1%・旅客当り32.9%
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のリサイクル率を40%まで向上させる。	○	実績41.9%
(施策目標)	GPU使用率60%	×	実績39.6%
	エコカー導入率20%	○	実績21.0%
	電力使用量5%削減(FY2016比)	×	4.3%削減

# 『福岡空港環境計画 (抜粋)』 (2018年3月改定)

大気	旅客1人あたりのCO2排出量を着実に削減する。	GPU使用促進 <b>【目標】使用率60%</b> 車輛のエコ化(低公害・低燃料・低排出がス車) <b>【目標】導入率20%</b> アイドリングストップ運動の組織的推進 各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化の推進 <b>【目標】電力使用量2016年度比5%削減</b>
エネルギー	エネルギー消費量を着実に削減する。	GPU使用促進 <b>【目標】使用率60%</b> 車輛のエコ化(低公害・低燃料・低排出がス車) <b>【目標】導入率20%</b> アイドリングストップ運動の組織的推進 高効率照明器具、照明設備のスイッチング、人感センサー等の導入推進 使用しない部屋の消灯 高効率空調機器の採用、高効率運転の促進 太陽光発電の導入 各施設の照明や冷暖房設備の省エネ化の推進 <b>【目標】電力使用量2016年度比5%削減</b>
騒音・振動	低騒音型車両及びGPU使用促進等により着実に騒音・振動を低減する。	GPU使用促進 <b>【目標】使用率60%</b> GSE車両等の低騒音型車両への転換 アイドリングストップ運動の組織的推進
水	旅客1人あたりの上水使用料を削減する。(2016年度比)	各事業所の上水使用料の把握 雨水や井水の利用 節水器具の採用 節水キャンペーン
土壌	可能な限り土壌への影響を小さくする。	尿素系融雪剤→酢酸系融雪剤への転換 防除氷剤について、エフレングリコルからプロレングリコルに転換 効率的な散布方法による散布量の低減
廃棄物	空港全体の廃棄物発生量のリサイクル率を <b>40%まで向上</b> させる。	新聞紙・雑誌の処分はリサイクル事業者へ委託 一般廃棄物は排出事業者ごとの発生量の把握 ごみの減量化キャンペーンの実施 産業廃棄物の発生量、処分及び再利用方法を把握し、3Rを軸に削減